

《初任給について》

初任給について、保育士は行政職給料表の3級に格付けられ、民間企業等での職務経験年数に応じ、一定の基準に基づいて決定します。

以下は、モデルケースとして、2年制の短期大学を卒業し、保育士資格を取得後、本市採用まで保育所等で継続して保育士又は幼稚園教諭として正社員で就業していた場合の初任給になりますので、参考としてご覧ください。

なお、最終合格された方については、面接カード等の情報をもとに初任給を試算することができるので、具体的な額をお知りになりたい場合は、最終合格発表後に担当部署（市人事課）へお問い合わせください。

(令和7年4月1日現在)

採用時の年齢	職務経験年数	初任給（地域手当を含む。）
36歳	16年	32万円程度
40歳	20年	34万円程度
45歳	25年	37万円程度
50歳	30年	40万円程度
55歳	35年	42万円程度

※ このほかに勤務場所により給料の調整額等（保育所勤務の例：9,844円）が支給されます。また、諸手当（通勤・扶養・住居・時間外勤務・期末・勤勉手当等）が、それぞれの支給要件に応じて支給されます。

※ 採用に伴う転居にかかる旅費や単身赴任手当は支給しません。

新規学卒者等を対象とした中級相当の試験の合格者は、保育士（1級）として採用しますが、民間企業等での職務経験がある人を対象としたこの試験の合格者は、年齢や経歴にかかわらず、「主任保育士（3級）」として採用します。

《昇任モデル》

